

今後の学校等のあり方基本構想

令和5年6月

千代田区

目 次

はじめに.	1
第1章 千代田区の学校等を取り巻く現状.	2
1 区の学校等に関わる地域特性.	2
(1) 小・中学校別の児童生徒数、学級数、平均人数.	2
(2) 区立学校等の配置.	7
(3) 小学校の学区域と特徴.	8
(4) 中学校の学区域と特徴.	11
(5) 各学校の敷地面積 校舎面積、校庭面積.	13
(6) 各学校の教室数 併設している施設の状況等.	14
2 社会情勢の変化と学校教育に関わる政策動向.	15
(1) 社会情勢の変化からみた教育行政の現状と課題.	15
(2) 教育行政に関わる国等の動向.	16
第2章 千代田区内の0～15歳の人口推計.	19
1 今後の小学生年齢人口・中学生年齢人口の見込み.	19
2 小学校別・学年別の令和7年度までの想定児童数.	20
第3章 千代田区の強みを活かした新しい学びのスタイル環境の創出に向けて.	21
1 新しい学びのスタイルの創出.	21
(1) 大学等各種学校、企業等との連携（産学官連携）強化.	21
(2) 特認校制の導入検討.	22
(3) 新たな学校種別（小中高一貫教育校、義務教育学校等）の整備検討.	22
2 柔軟で創造的な学習空間の創出.	24
(1) 児童・生徒数の変動に対して柔軟に対応した学びの場の確保.	24
(2) よりよい教育環境の整備.	25
3 安心して過ごせる学童クラブ.	36
(1) 学校内学童クラブのあり方の検討.	36
4 ロードマップ案.	37

はじめに

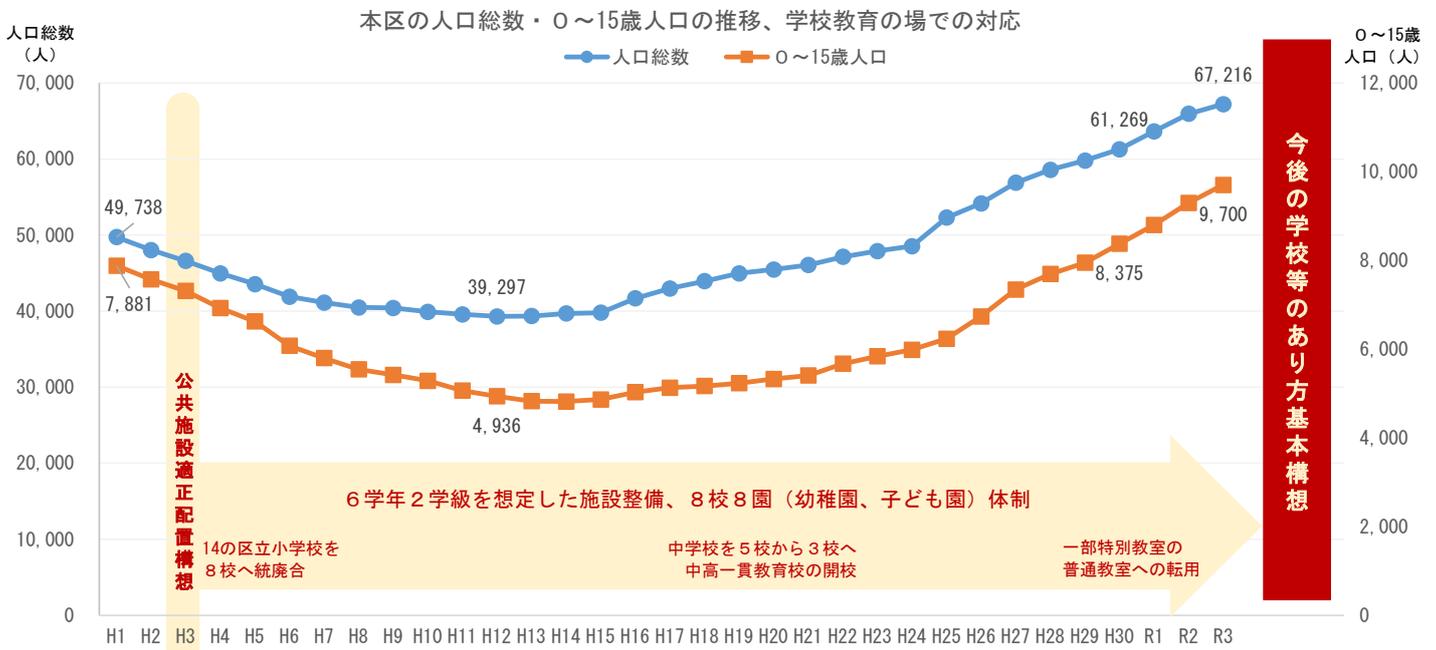
千代田区（以下、「区」という。）では、日本の高度経済成長とともに業務地化が進行し、人口は昭和 31 年以降減少し、平成 12 年には住民基本台帳人口が 39,297 人まで落ち込みました。この間、平成 3 年 12 月に「公共施設適正配置構想（以下、「公適配」という。）」を公表し、当時 14 校あった区立小学校を 8 校に統廃合しました。この公適配に基づいて整備された小学校は、6 学年各 2 学級を想定した施設整備を行い、幼稚園との併設や他の施設との合築により校舎を建てました。

加えて、平成 17 年 4 月には、当時 5 校あった中学校を 3 校とし、3 学年各 4 学級を想定した施設規模としました。さらに、平成 18 年 4 月には区立九段中学校と東京都立九段高等学校を統合して、中高一貫教育校である区立九段中等教育学校を開校しました。

また、区は、人口回復を主要施策に掲げ、住環境の整備、子育て支援施策の充実などに取り組んだ結果、平成 13 年以降増加が続き、平成 30 年には外国人を含む住民基本台帳人口が 6 万人を超えました。現在もこの傾向は続いており、区内の児童・生徒数も増加していることから、普通教室への改修等を行い、健やかな成長を支える学習生活の場を確保しています。

一方、国では、「令和の日本型学校教育」の構築を目指し、全ての子どもたちの可能性を引き出し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、新しい時代の学びを実現する学校施設のあり方を検討しています。こうしたことから、従来とは異なる多様な教育方法や学習活動を展開するため、学びの環境や学校のあり方にも大きな変革が求められています。

子どもの健やかな育ちをまち全体で支援し、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばしていくため、区の独自性を活かした「今後の学校等のあり方」を検討することが必要です。また、不確実性の高い時代において、柔軟に対応しながら安全・安心な学びの環境を堅持するため、新たな方策を検討することが必要です。



(出典：千代田区住民基本台帳より作成)

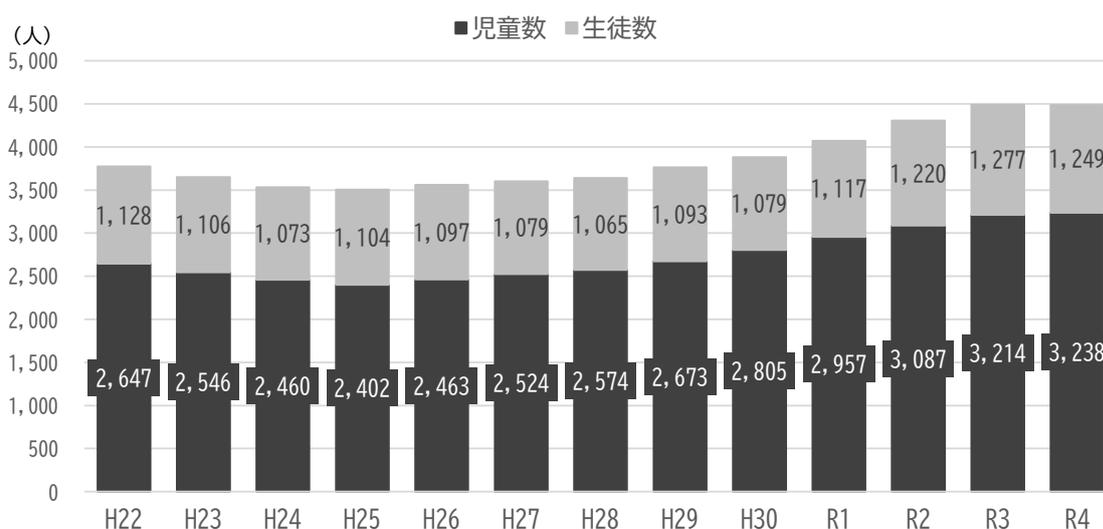
第1章 千代田区の学校等を取り巻く現状

1 区の学校等に関わる地域特性

(1) 小・中学校別の児童・生徒数、学級数、平均人数

ア 児童・生徒数の推移

区立小学校の児童数は増加傾向にあり、令和4年時点で3,238人となっています。区立中学校（中等教育学校前期課程含む）の生徒数は、令和3年度まで増加傾向でしたが令和4年度は横ばいとなっています。



※各年5月1日現在

イ 小学校別・学年別の児童数

令和4年度の各区立小学校別・学年別の児童数は、以下のとおりです。

(単位：人)	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計
麴町小学校	84	106	98	108	84	91	571
九段小学校	75	90	87	88	69	91	500
番町小学校	78	62	75	66	69	72	422
富士見小学校	71	99	84	84	81	68	487
お茶の水小学校	58	59	47	50	35	54	303
千代田小学校	48	61	55	56	44	47	311
昌平小学校	45	54	33	48	33	41	254
和泉小学校	74	68	64	55	53	45	359
富士見小学校 (特別支援学級)	2	0	1	1	0	0	4
千代田小学校 (特別支援学級)	6	4	3	7	5	2	27

※令和4年5月1日現在

ウ 小学校別・学年別の通常の学級数

令和4年度の各区立小学校別・学年別の通常の学級数は、以下のとおりです。

なお、「千代田区公共施設適正配置構想に基づく区立学校の適正規模・適正配置及び生涯学習施設の整備について（平成3年12月発表）」では、小学校での1学年の望ましい学級数は2～3学級、学校全体として12～18学級と示しています。

(単位：学級)	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計
麴町小学校	3	4	3	3	3	3	19
九段小学校	3	3	3	3	2	3	17
番町小学校	3	2	3	2	2	2	14
富士見小学校	2	3	3	3	2	2	15
お茶の水小学校	2	2	2	2	1	2	11
千代田小学校	2	2	2	2	2	2	12
昌平小学校	2	2	1	2	1	1	9
和泉小学校	3	2	2	2	2	2	13

※令和4年5月1日現在

エ 小学校別・学年別の1学級あたり平均人数

令和4年度の各区立小学校別・学年別の1学級あたりの平均人数は、以下のとおりです。

なお、35人学級への移行については、令和4年度は小学校3年生が対象となり、それ以降毎年1学年ずつ高学年へ繰り上がり、令和7年度に全学年で完了します。

(単位：人)	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	全体
麴町小学校	28	27	33	36	28	30	30
九段小学校	25	30	29	29	35	30	29
番町小学校	26	31	25	33	35	36	30
富士見小学校	36	33	28	28	41	34	32
お茶の水小学校	29	30	24	25	35	27	28
千代田小学校	24	31	28	28	22	24	26
昌平小学校	23	27	33	24	33	41	28
和泉小学校	25	34	32	28	27	23	28

※令和4年5月1日現在

※1学級あたり平均人数＝児童数÷通常の学級数

オ 中学校別・学年別の生徒数・学級数・1学級あたり平均人数

区内の小学校を卒業した子どもの約半数が私立・国立中学校や中等教育学校へ進学しており、区立中学校の入学者数の予測は難しい状況です。

現在、2つある区立中学校は、区内全域からの自由選択制を採用しています。

生徒数・平均人数（単位：人） 学級数（単位：学級）	1学年（12～13歳）			2学年（13～14歳）			3学年（14～15歳）			合計		
	生徒数	学級数	平均人数	生徒数	学級数	平均人数	生徒数	学級数	平均人数	生徒数	学級数	平均人数
麴町中学校	129	4	32	163	5	33	239	6	40	531	15	35
神田一橋中学校	90	3	30	88	3	29	53	2	27	231	8	29
麴町中学校 （特別支援学級）	3			2			4			9		
九段中等教育学校 （前期課程）	161	4	40	158	4	40	159	4	40	478	12	40

※令和4年5月1日現在

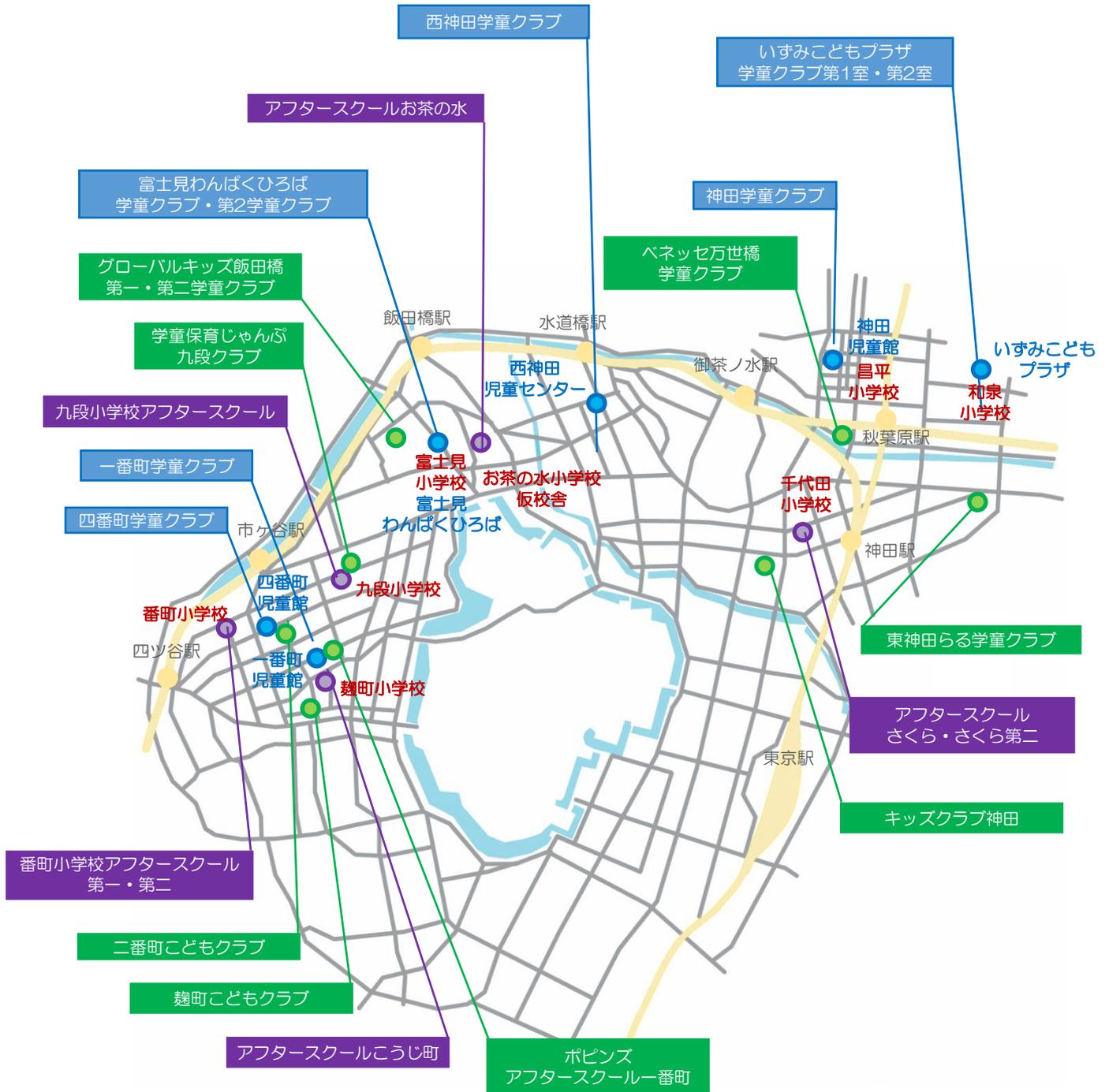
※1学級あたり平均人数＝生徒数÷学級数

カ 学童クラブの在籍状況

学童クラブの在籍状況については、定員に対して利用希望者が多い学童クラブが出てきています。

(7) 区内学童クラブ配置図

- 児童館に設置されている学童クラブ
- 学校内に設置されている学童クラブ
- 夜間保育を実施している学童クラブ



(イ) 学童クラブ学年別在籍状況

(単位：人)

	児童館併設学童クラブ							学校内学童クラブ								
	昌平小					和泉小		富士見小		千代田小	麴町小	番町小		お茶の水小	九段小	
	西神田	神田	四番町	一番町	区営合計	いずみ学童クラブ1	いずみ学童クラブ2	富士見わんぱくひろば学童クラブ	富士見わんぱくひろば第二学童クラブ	アケスクールさくら	アケスクールさくら第二	アケスクールこうじ町	番町小学校アケスクール第一	番町小学校アケスクール第二	アケスクールお茶の水	九段小学校アケスクール
1年生	15	24	2	7	48	21	22	30	11	16	9	24	18	17	14	31
2年生	29	15	10	12	66	11	11	29	15	22	15	27	11	9	13	20
3年生	14	12	24	27	77	0	28	16	8	13	11	1	9	12	10	1
1～3年生合計	58	51	36	46	191	32	61	75	34	51	35	52	38	38	37	52
4年生	3	8	8	15	34	0	0	1	0	11	8	0	2	1	9	0
5年生	0	1	5	0	6	0	0	0	0	3	2	0	0	0	2	0
6年生	0	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
4～6年生合計	3	9	15	15	42	1	0	1	0	14	10	0	2	1	12	0
在籍人数合計	61	60	51	61	233	33	61	76	34	65	45	52	40	39	49	52
定員 (R4.4.1時点)	50	50	47	42	189	34	54	70	40	65	45	50	38	38	60	50
令和3年5月1日現在在籍人数	61	58	47	63	229	34	60	76	34	64	48	56	40	42	40	56
【備考】	私立3	私立0	私立5	私立1	私立9	私立0	私立0	私立6	私立2	私立0	私立0	私立0	私立0	私立0	私立0	私立0
私立学童クラブ																
	二番町こどもクラブ	ポピンズアースターズクラブ一番町	グローバルキッズ飯田橋第一学童クラブ	グローバルキッズ飯田橋第二学童クラブ	麴町こどもクラブ	キッズクラブ神田	東神田らるる学童クラブ	学童保育じゃぶ九段クラブ	ベネッセ万世橋学童クラブ	民営合計	学年合計					
1年生	11	8	8	7	7	4	9	5	5	277	325					
2年生	10	11	8	9	9	4	13	4	12	263	329					
3年生	19	15	12	12	3	2	8	14	2	196	273					
1～3年生合計	40	34	28	28	19	10	30	23	19	736	927					
4年生	15	11	19	16	4	6	9	13	2	127	161					
5年生	11	4	4	8	7	1	1	1	3	47	53					
6年生	6	1	3	2	1	0	1	3	1	20	22					
4～6年生合計	32	16	26	26	12	7	11	17	6	194	236					
在籍人数合計	72	50	54	54	31	17	41	40	25	930	1,163					
定員 (R4.4.1時点)	70	50	55	55	45	50	40	40	40	989	1,178					
令和3年5月1日現在在籍人数	70	50	50	52	33	18	33	24	10	890	1,119					
【備考】	私立19	私立3	私立7	私立2	私立2	私立3	私立1	私立0	私立4	私立49	私立58					

※定員は令和4年5月1日現在

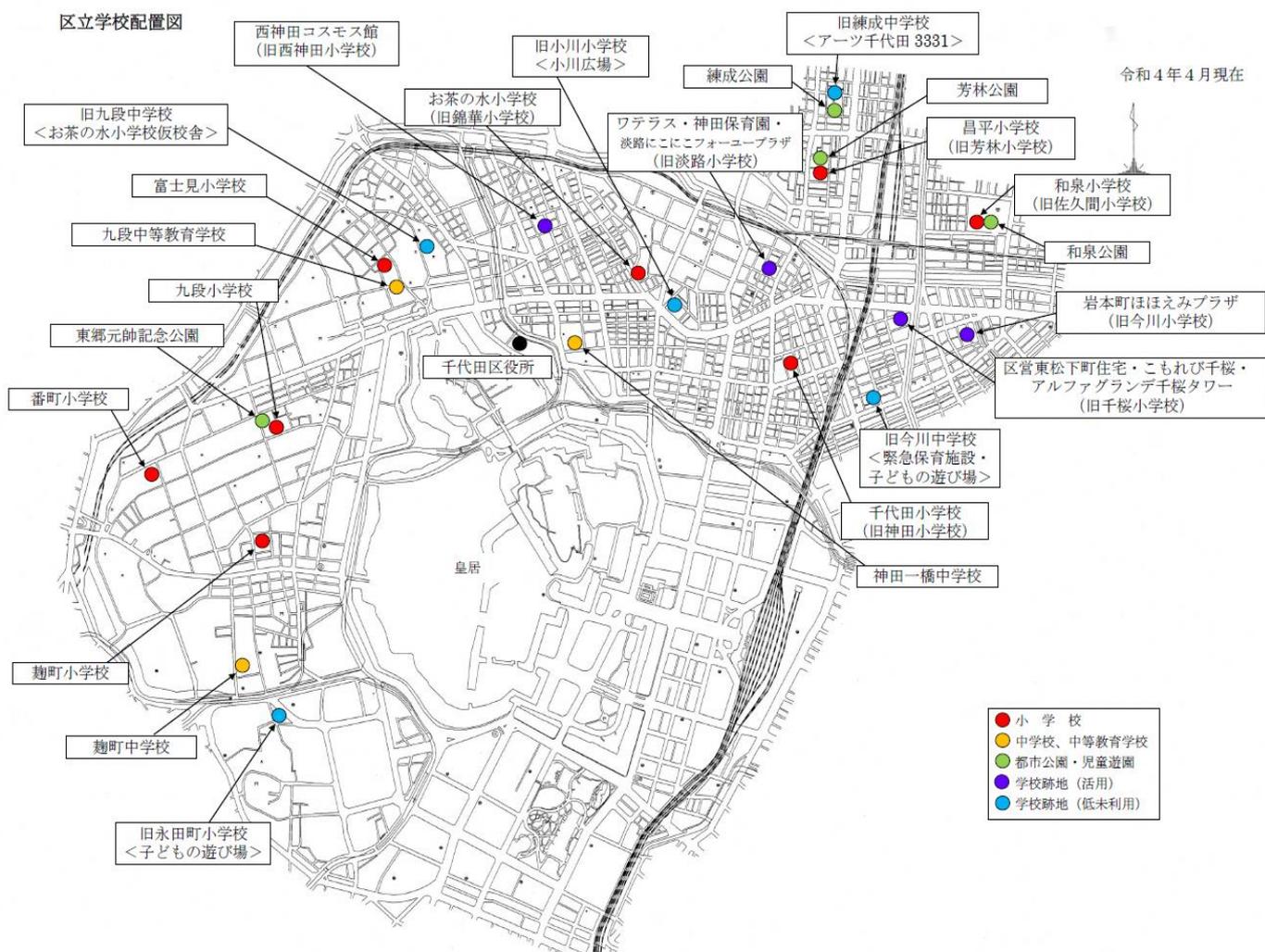
(2) 区立学校等の配置

区内に幼稚園（こども園を含む）8園、小学校8校、中学校2校、中等教育学校1校があり、全ての小学校に幼稚園・こども園を併設しています。

放課後の学校施設を活用して、区立全8小学校の建物内で、子どもたちが「学び」や「遊び」、「体験活動」ができる放課後子ども教室や学童クラブ事業を実施しています。一部の学童クラブについては、定員に対し利用希望者が多く、スペースの有効活用等の工夫が求められています。

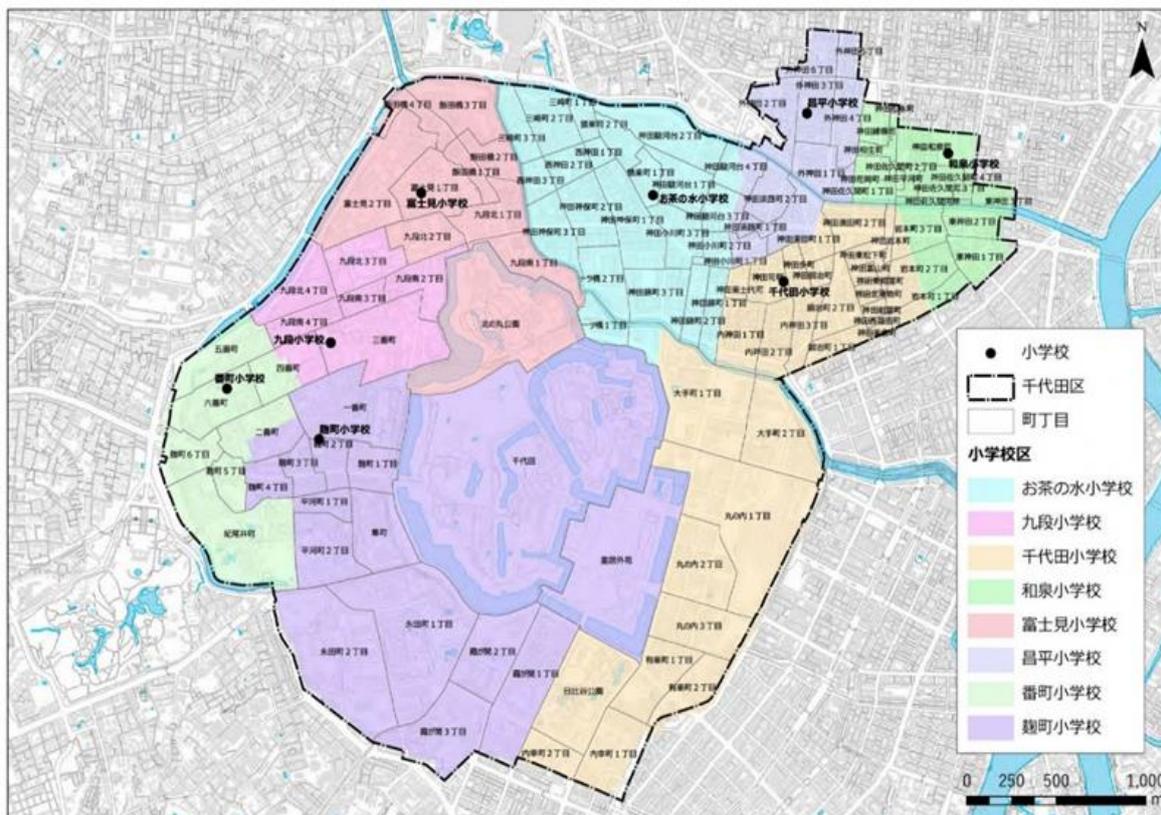
校舎や校庭については、学校教育に支障のない範囲で、町会、区民自主サークル等の活動の場として、地域に開放しています。

特別支援学級については、これまで小学校は千代田小学校、中学校は麴町中学校に設置していましたが、令和4年4月から富士見小学校にも新設しました。



(3) 小学校の学区と特徴

小学校は、地域コミュニティとの関わりや通学距離・時間等を考慮し、住所によって、就学する区立小学校を指定しています。



ア 麴町小学校・学区の特徴

児童が通学してくる区域は、主に一番町、二番町、麴町、隼町、平河町ですが、学区は千代田、皇居外苑といった皇居周辺や、霞ヶ関、永田町の官庁街を含んでおり広範囲にわたっています。江戸時代には、旗本御家人の屋敷地であったと言われていたますが、現在は国会議事堂、最高裁判所、都道府県会館、国立劇場等、国や地方公共団体の中枢機関を含んだ政治・経済・文化の中心地となっています。

昔のたたずまいを残す邸宅が散在する一方で、新たにマンション開発が進み、麴町大通り（新宿通り）沿いは賑やかな商業地区を形成しています。

イ 九段小学校・学区の特徴

児童が通学してくる地域は、主に九段北、九段南、三番町、四番町で、学区域には靖国神社を含んでいます。

学区域は、山の手の閑静な住宅地で樹木が多く、私立中学校・高校・大学、大使館等があります。靖国通り近くの公道に面しており、古くから商店街が形成され、史跡等も点在していることから訪れる人が多く、人・自然・文化が調和された美しい環境にあります。

また、集合住宅が増加し、他地域から転入してくる核家族の家庭も年々増えつつあります。

ウ 番町小学校・学区の特徴

児童が通学してくる地域は、二番町、四番町、五番町、六番町のほか、麴町、紀尾井町も含んでいます。

学区域は、紀州家・尾張家・井伊家の中屋敷があつたほか、殆どが「番方」の住む江戸の武家屋敷町であつたことから、「番町」という地名がつけました。明治維新後は、この地に政治家や文化人等が多く居住していました。

環境的には、四谷・市ヶ谷の外濠土手、紀州家跡の清水谷公園等、緑の多い高級住宅地として知られています。

近年は、大学や私立学校・在日外国人学校等が増え文教地区を形成しており、国際ホテルや高級マンションが林立し、まちの様相が変わってきています。

エ 富士見小学校・学区の特徴

児童が通学してくる地域は、目白通り以西の飯田橋、富士見、九段北のほか、北の丸公園も含んでいます。

本校の周辺には大使館が点在し、国際色が色濃い地域となっています。

また、私立・公立の幼・小・中・高等学校や大学も多数ある文教地区であるとともに、飯田橋駅周辺から続く商業地域も抱えています。学区域では、6つの町会主催の昔ながらの伝統行事や習わしが継承されています。

オ お茶の水小学校・学区の特徴

児童が通学してくる地域は、神田川、目白通り、内堀通り、本郷通りなどに囲われており、大学をはじめ、各種の学校が多く存在することにより、古くから書店・印刷・製本業・出版社が集中しています。

また、飲食業・スポーツ用品店も数多く見られます。近年、建物の高層化が進み、街の景観が変わり始めています。

地下鉄・JRの駅が近く、交通の至便性が高く、昼間は学生やビジネスマン等の行き来で活気にあふれています。

カ 千代田小学校・学区の特徴

学区域は旧神田区と旧麴町区とにまたがる大変広い地域であり、大手町・丸の内ビジネス街・有楽町商店街・日比谷公園等を含んでいます。

ほとんどの児童は旧神田区から通学しており、神田駅東側の地域は、江戸時代に集まり住んだ職人たちの職業から付けられた昔ながらの町名が残っており、現在も様々な業界の間屋や商店が軒を連ねています。神田駅西側の地域は、江戸時代からの商人と職人の活気あふれる雰囲気が残っています。

また、近年、この地域はマンションを含むビル化が急速に進んでいます。

キ 昌平小学校・学区の特徴

神田川をはさんで学区域は大きく二つに分けられます。神田淡路町、神田須田町、神田小川町、神田駿河台一帯は銀行や老舗の飲食店等があり、比較的落ち着いたまちな様相を呈する一方、外神田一帯は秋葉原を中心とする電気街として発展してきましたが、近年、多様な文化が集積し、国際的な商業地・観光地、サブカルチャーのまちとして新たな賑わいを生み出しています。

学区域にある神田神社（神田明神）で2年に一度行われる神田祭は、山王祭、深川八幡祭りと並び江戸三大祭の一つとされ、また、日本の三大祭りの一つとされています。

ク 和泉小学校・学区の特徴

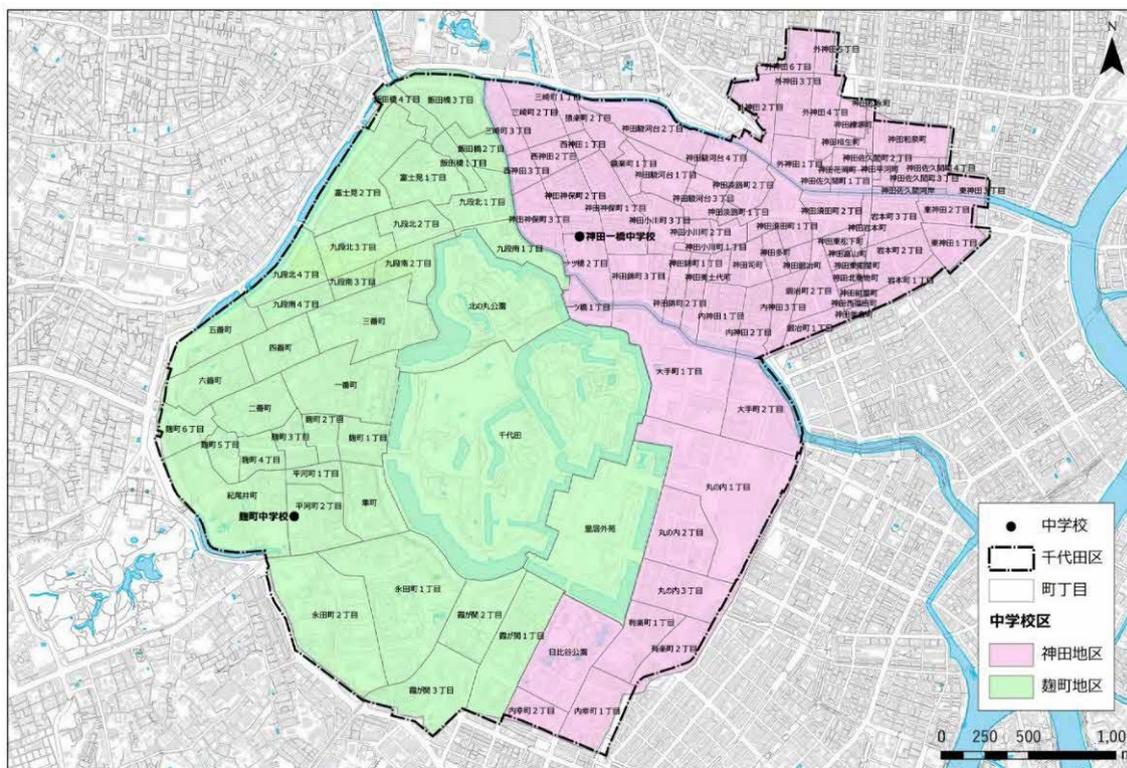
児童が通学してくる地域は、神田和泉町、神田佐久間町、神田佐久間河岸、岩本町、東神田で、学区域は、江戸時代職人のまちであったとともに、神田川を利用した舟運による流通関連の業種が発達した町人のまちでした。

神田川以南の岩本町、東神田地域は、数は減っていますが、繊維問屋や関連企業、商店などが散見されます。

また、神田川以北の神田和泉町は、江戸時代は武家地であり、武家屋敷が存在しており、隣接する神田佐久間町は、木材商のまちでした。

(4) 中学校の学区と特徴

中学校は、各学校の特色や様子をよく理解し、生徒の意思に基づき適した学校「学びたい学校・学ばせたい学校」を、通学区域を設けずに自由に選ぶことができる学校選択制を採用しています。



ア 麴町中学校の特徴

近隣には、皇居の内堀があり、また国会議事堂、最高裁判所、国立劇場等の国や地方公共団体の中枢機関を含んだ施設及びホテルや大学、大使館等が建ち並ぶ、政治・経済・文化の中心的な環境にあります。

人間尊重と相互信頼を基盤として、平和で民主的な国家及び社会の形成者を育成することを目指し、次の目標を掲げています。

自律：自ら考え、判断し、行動する。

尊重：違いを理解し、他者を尊重する。

創造：豊かな発想で、新たな価値や解決策を生み出す。

また、国際人として信頼され、考え、行動できる生徒を育成するために、特に次の態度を身に付けさせることを目指しています。

- 様々な場面で言葉や技能を使いこなす
- 信頼できる知識や情報を収集し、有効に活用する
- 見通しをもって計画的に行動する
- 他者の立場で物事を考える
- 感情をコントロールする
- ルールを踏まえて、建設的に主張する
- 目標の合意形成を図り、他者と協働する
- 意見の対立や理解の相違を解決する

イ 神田一橋中学校の特徴

近隣には、皇居の内堀があり、また毎日新聞社、学士会館、如水会館等の施設及び書店や出版関係の事業所が建ち並ぶ等、歴史と伝統が息づく文化的環境にあります。

学校・家庭・地域の緊密な連携を基盤として、子どもたちと共にはぐくむ教育を推進しています。

落ち着いた教育環境のもとに全教職員が一丸となり、学力・情報・進路・地域をキーワードとして、夢・学力・心・体を柱に調和のとれた特色ある教育活動を実践しています。整備された ICT 機器の環境のもと、生徒一人一台のタブレット PC の環境を生かし、授業だけでなく、個に応じた学習や協働的な学習にも積極的に取り組んでいます。

また、神田地区の伝統行事等への参加や地域人材を活用する等、日本の伝統文化について理解を深めるための体験学習の充実を図っています。

ウ 九段中等教育学校の特徴

靖国神社に隣接し、近隣には、大学をはじめとする各種学校や緑豊かな北の丸公園等があり、坂が多いことで有名な地域です。

スクール・ミッションとして、「伝統の『至大至剛』の精神の下、豊かな教養と人間性、高い志を身に付け、創造的・意欲的に行動し、他者と協調・協働して、未来志向で責任をもって未来貢献できる人材を育成し、生徒の可能性を最大限に伸ばさせる学校」を掲げています。

「区教育委員会教育目標」、「区立中等教育学校基本計画」及びスクール・ミッションに基づき、スクール・ポリシーとグランドデザインを策定して、学習指導要領に対応した教育課程を編成・実施・評価し、6年間を一気通貫した特色ある教育活動を展開・発展させています。また、区立保幼小中高一貫教育の先進校として、モデルとなる学校経営の実現を図っています。

【スクール・ポリシー】

グラデュエーション・ポリシー	確かな学力の向上と STEAM 教育、キャリア教育の充実、豊かな人間性の育成を通じて、教養力、主体的挑戦力、調和力、創造力を身に付けさせる
カリキュラム・ポリシー	リベラルアーツと探究学習を基本とし、「学ぶ・生きる・鍛える」の3つの柱で、体験の重視、九段自立プランの実施、学校行事等の充実をもって6年間一気通貫した教育カリキュラムを編成・実施する
アドミッション・ポリシー	思いやりの心と好奇心をもち、何事にも主体的に取り組んだり抜く強い意志があり、将来を見通した目標設定と行動選択ができる人になる意欲ある児童を求める。

(5) 各学校の敷地面積、校舎面積、校庭面積

限られた敷地を有効活用している学校が多く、児童数の多い小学校では、休み時間等の遊び場や居場所について、曜日・時間帯での割付等の工夫をしながら対応しています。

小学校	敷地面積				校舎面積				校庭面積			
	面積 (㎡)		児童1人当たりの面積 (㎡)		面積 (㎡)		児童1人当たりの面積 (㎡)		面積 (㎡)		児童1人当たりの面積 (㎡)	
	各学校	23区平均	各学校	23区平均	各学校	23区平均 (5,121㎡)	各学校 小学校設置基準	23区平均 (10.8㎡)	各学校	23区平均 (3709.3㎡)	各学校	23区平均 (7.8㎡)
麴町小学校	6,465	8,993.5	11.3	18.9	6,887	2,973	12.1	5.2	1,764	5,710	3.1	10.0
九段小学校	4,479		9.0		6,854	2,760	13.7	5.5	1,559	5,000	3.1	10.0
番町小学校	7,006		16.6		5,598	2,410	13.3	5.7	2,608	4,220	6.2	10.0
富士見小学校	7,261		14.8		7,799	2,733	15.9	5.6	1,914	4,910	3.9	10.0
お茶の水小学校	5,132		16.9		3,887	1,815	12.8	6.0	1,240	3,030	4.1	10.0
千代田小学校	3,379		10.0		9,221	1,990	27.3	5.9	1,232	3,380	3.6	10.0
昌平小学校	3,413		13.4		8,618	1,570	33.9	6.2	1,788	2,540	7.0	10.0
和泉小学校	3,963		11.0		5,048	2,095	14.1	5.8	1,207	3,590	3.4	10.0

中学校 (中等教育学校 前期課程)	敷地面積				校舎面積				校庭面積			
	面積 (㎡)		生徒1人当たりの面積 (㎡)		面積 (㎡)		生徒1人当たりの面積 (㎡)		面積 (㎡)		生徒1人当たりの面積 (㎡)	
	各学校	23区平均	各学校	23区平均	各学校	23区平均 (5,970㎡)	各学校 中学校設置基準	23区平均 (16.2㎡)	各学校	23区平均 (5725.9㎡)	各学校	23区平均 (15.5㎡)
麴町中学校	8,794	12,096.2	16.3	32.8	8,625	3,480	16.0	6.4	2,718	6,600	5.0	12.2
神田一橋中学校	6,260		27.1		7,490	1,746	32.4	7.6	2,309	3,600	10.0	15.6
九段中等教育学校(前期課程)	9,788		20.5		10,239	3,228	21.4	6.8	4,740	5,980	9.9	12.5

※令和4年5月1日現在。

※お茶の水小学校は、仮校舎(旧九段中学校)の面積を記載。

(6) 各学校の教室数・併設している施設の状況等

今後も児童数の増加が想定される小学校では、併設施設の外部移転や特別教室の改修等によって普通教室を確保するための検討を行っています。

また、学校施設等の老朽化や劣化状況等を踏まえ、順次、建替え又は改修工事を行っており、和泉小学校や番町小学校では建替えを計画しています。

ア 特別教室やコンピュータ室の普通教室への転用

優先度を考慮して、活用頻度の高くない特別教室を普通教室へ転用してきました。また、GIGA スクール構想により一人一台タブレット端末を整備したことにより、普通教室においても端末を使うことができるようになったため、普通教室の不足が見込まれる学校（麴町小学校、千代田小学校、和泉小学校）については、コンピュータ室を普通教室に転用するための工事を行っています。

イ ランチルームを普通教室へ転用

公適配に基づいて整備された学校には、クラスや学年の枠を越えて一堂に会して給食を食べたりする場としてランチルームを設置してきました。

しかし、児童・生徒数の増加や新型コロナウイルス感染症の蔓延等のため、本来の目的での使用は難しくなり、実際には少人数授業を行う際の教室としての使用や、会議室として使用しています。

そのため、普通教室が不足する学校（和泉小学校）については、ランチルームを改修し、普通教室として使用しています。

ウ その他

児童数の増加に伴い、普通教室の不足が見込まれる状況となった場合は、併設している施設の一部を移転し普通教室に改修しています（麴町小学校に併設している麴町区民館の一部を普通教室化する工事を令和3年度に実施）。

各学校の普通教室数の推移（平成25年度～令和4年度）

年度	H25		H26		H27		H28		H29		H30		H31		R2		R3		R4	
	年度当初使用可能普通教室数	改修工事等による増数	年度末使用可能予定普通教室数																	
麴町小学校	14		1増	15	1増	16	2増	18									3増	21		21
九段小学校	18												18		1増	19				19
番町小学校	14														2増	16				16
富士見小学校	14							1増	15						2増	17			2増	19
お茶の水小学校	15																			
千代田小学校	12														2増	14				14
昌平小学校	12																			12
和泉小学校	12														1増	13	1増	14	1増	15
麴町中学校	15														2増	17				17
神田一橋中学校	12																			12

2 社会情勢の変化と学校教育に関わる政策動向

(1) 社会情勢の変化からみた教育行政の現状と課題

ア 学校や学びのあり方の変革

人工知能（AI）、ビッグデータ、Internet of Things（IoT）等、先端技術が急速に社会生活に浸透しつつあり、近い将来、仮想空間と現実世界が融合した新たな社会（Society 5.0）が到来しつつあります。

予測困難な時代となり、目の前の事象から解決すべき課題を抽出し、主体的に考え、多様な立場の人と協働しながら解決策を創出する資質・能力が一層求められています。

イ 教職員の負担感の増加

従来から、教職員の業務負担感の増加が問題となっていました。新型コロナウイルス感染症対策等により、その負担感はさらに大きくなっています。

教職員の負担感を軽減するとともに、教職員でなければできない業務に全力投入でき効果的な教育活動ができる環境づくりが求められています。

ウ 多様な学びのニーズに対応

小・中学校の特別支援学級・特別支援教室に在籍する児童・生徒や外国人児童・生徒、日本語指導を必要とする児童・生徒が増加傾向にあります。様々な関係者との協力・連携を深めながら、多様な学びのニーズに対応することが求められています。

エ 防災機能、バリアフリー化、温暖化対策

自然災害の頻発・激甚化により、災害時に地域の避難所を担う重要なインフラである学校施設の役割が重要視されており、学校施設での防災機能の強化やバリアフリー化をより一層推進することが求められています。

また、温暖化対策も求められています。

(2) 教育行政に関わる国等の動向

ア 学習指導要領（平成29年告示）

子どもたちが、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力（生きる力）を育むことを重視した内容となっています。

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱からなる「資質・能力」を総合的に育むことを目指しており、そのために、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が重要視されています。

イ GIGAスクール構想

学校において、「一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する」ことと、「これまでの我が国の教育実践と最先端のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す」ことを目指しています。

ウ STEAM教育

文部科学省では、STEM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) に加え、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲でAを定義し、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習を推進しています。

AI と第四次産業革命の世紀に価値を生み出す力を養うために、学びを「より学際的で、創造的社会的な学び」へとシフトさせていく考え方といえます。国では、「学びのSTEAM化」として、子ども達のワクワクを起点に「知る」と「創る」の循環的な学習を実現することを目指しています。

学校教育におけるSTEAM教育等の教科等横断的な学習の推進

○ AIやIoTなどの急速な技術の進展により社会が激しく変化し、多様な課題が生じている今日、文系・理系といった枠にとらわれない、各教科等の学びを基礎としつつ、様々な情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結び付けていく資質・能力の育成が求められている。

○ 学習指導要領においては、学習の基礎となる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）や、現代的な課題に対応して求められる資質・能力を育成するため、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ることとしている。

STEM (Science, Technology, Engineering, Mathematics) に加え、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲でAを定義し、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習を推進することが重要

文理の枠を超えたカリキュラム・マネジメントの充実

- 生徒・学校・地域等の実態を踏まえ、スクール・ポリシーに基づき文理の枠を超えた教科等横断的な視点での教育課程を編成・実施
- スクール・ポリシーと総合的な探究の時間等の目標との関連を図る
- 各教科の教師の専門性を生かした協働体制を構築
- 教師の負担を軽減しつつ学校外リソースを活用するための連携体制を整備
- ICTを活用した学習を積極的に推進

教育委員会等による支援の充実

- 各学校の多様な実態を踏まえながら、スクール・ポリシーに基づきカリキュラム・マネジメントを支援
- ICTを活用した学習を推進するとともに、産業界や高等教育機関、社会教育施設、地域の団体等と連携し、各学校と外部の人材やコンテンツ等のリソースのマッチングを通じて社会に開かれた教育課程の実現を促進

各教科等における探究的な学習活動の充実

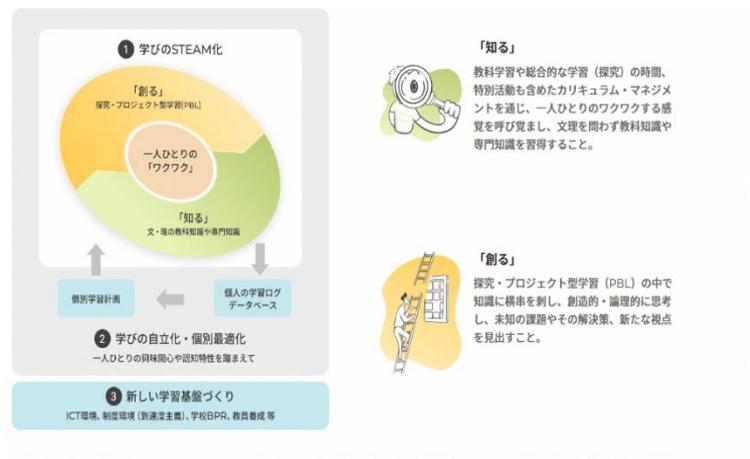
- 各教科等の目標の実現に向け、その特長に応じた見方・考え方を働かせながら、文理の枠を超えて実社会の課題を取り扱う探究的な学習活動を充実
- 総合的な探究の時間、理数探究等を中心とした探究活動の充実
- 複数の教科等の見方・考え方を総合的に働かせながら、文理の枠を超えて実社会の課題を取り扱い、探究活動を充実
- 試行錯誤しながら新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を育成

理学、工学、芸術、人文、社会科学等を横断した学際的なアプローチで実社会の問題を発見し、解決策を考えようとする主体的・対話的で深い学びの実現

- 知的好奇心や探究心を引き出すとともに、学習の意義の実感により学習意欲を向上
- 文理の枠を超えた総合的な課題を解決し、新たな価値を創造するための資質・能力を育成
- 高等学校等における多様な実態を踏まえた探究的な学習活動を充実
- 自分のよさや可能性を認識するとともに、めざす教育目標の達成の存在として意識し、多様な人と協働し、互いが互々を社会的な変化の契機として、めざましい成果を生み出す。持続可能な社会の創り手となる人財として必要
- 資質・能力の育成

STEAMの名分野が領域に跨る現代社会に生きる市民、新たな価値を創造し、社会の創り手となる人財として必要

（出典：文部科学省ホームページ）



(出典：文部科学省ホームページ
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/mext_01592.html)

(出典：STEAM ライブラリー 未来の教室ホームページ
<https://www.steam-library.go.jp/about>)

エ 公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の改正

令和3年3月に法律が改正され、令和3年度から5年かけて、公立小学校の学級編成を1クラスあたり35人に引き下げることになりました。少人数学級と一人一台端末により、個別最適な学びと協働的な学びの実現が求められています。

なお、本改正案は、経過措置として、令和7年3月31日までの間、文部科学大臣が定める特別の事情（例、学級数の増加に伴い教室不足が生じる場合等）がある小学校にあつては、学級編制の標準を40人に据え置くことが可能です。

オ 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について

国では、一人一台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実等に向け、新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方及び推進方策について有識者会議において議論を進め、令和4年3月に報告書として取りまとめました。同報告書では、新しい時代の学びを実現する学校施設の姿（ビジョン）として「Schools for the Future 「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造する」を掲げ、「未来思考」の視点として、以下の4つの視点を示しました。

【未来思考の視点】

1. 学校は、教室と廊下それ以外の諸室で構成されているものという固定観念から脱し、学校施設全体を学びの場として捉え直す。廊下も、階段も、体育館も、校庭も、あらゆる空間が学びの場であり、教育の場、表現する場、心を育む場になる。
2. 教室環境について、単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な活動に柔軟に対応していく視点（柔軟性）をもつ。
3. 紙と黒板中心の学びから、一人一台端末を文房具として活用し多様な学びが展開されていくように、学校施設も、画一的・固定的な姿から脱し、時代の変化、社会的な課題に対応していく視点（可変性）をもつ。
4. どのような学びを実現したいか、そのためにどんな学び舎を創るか、それをどう生かすか、関係者が、新しい時代の学び舎づくりのビジョン・目標を共有する。

また、5つの姿の方向性として、以下が示されました。

【5つの姿の方向性】

1. 学び：個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現
2. 生活：新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現
3. 共創：地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現
4. 安全：子どもたちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現
5. 環境：脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現

なお、同報告書には、学校施設の機能面での現状と課題として、以下の視点等が示されています。

1. 明治以来の片廊下一文字型の画一的な学校施設は、省エネ化等が図られていないものが多く、良好な温熱環境の確保が困難
2. 公立小中学校の普通教室の平均面積は64㎡であり約7割の教室が65㎡未満
3. 人的なサポートも含めICT環境や学校施設の整備充実が課題
4. 一人一台端末を前提とした学習への対応として、新JIS規格の机の導入が必要
5. インクルーシブ教育システムの構築や合理的配慮の基礎となる環境整備としての施設のバリアフリー化等を進めていくことが必要 等

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方（5つの姿の方向性）



【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

- 学び** ⇒ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現
⇒ 1人1台端末環境等に対応した机を配置し、多様な学習を展開できる教室環境の整備
⇒ 個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペース、学習支援、教育相談等の環境整備
⇒ 教職員のコミュニケーション・リフレッシュの場（ラウンジ）、映像編集空間（スタジオ）の整備

（教室・教室周辺の空間の改善・充実に関する創意工夫の例）



1人1台端末環境等に対応したゆとり
のある教室の整備

多目的スペースの活用による多様な
学習活動への柔軟な対応

ロッカースペース等の配置の工夫等
による教室空間の有効活用

- 生活** ⇒ 新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現
⇒ 居場所となる温かみのあるリビング空間（小教室・コーナー、室内への木材利用）
⇒ 空調設備の整備、トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化
- 共創** ⇒ 地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現
⇒ 地域の人たちと連携・協働していく活動・交流拠点として「共創空間」を創出
⇒ 地域の実情等に応じた他の公共施設等との複合化・共用化等

【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】

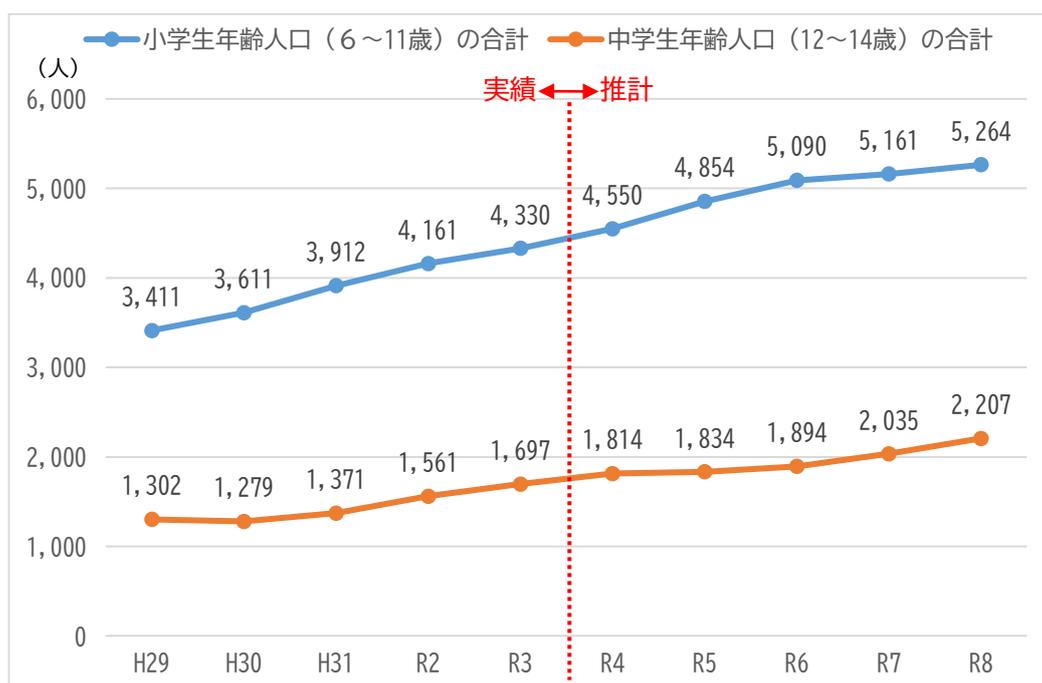
- 安全** ⇒ 子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現
⇒ 老朽化対策等により、安全・安心な教育環境を確保
⇒ 避難所として自家発電・情報通信設備、バリアフリー、水害対策等の防災機能を強化
- 環境** ⇒ 脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現
⇒ 屋根や外壁の高断熱化や高効率照明などの省エネルギー化、太陽光発電設備の導入の促進により、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を推進
⇒ 環境や地域との共生の観点から学校における木材利用（木造化、室内利用）を推進

（出典：「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告）

第2章 千代田区内の0～15歳の人口推計

1 今後の小学生年齢人口・中学生年齢人口の見込み

コーホート変化率法¹を用いて、平成29年から令和3年までの計5年間の住民基本台帳（各年とも4月1日時点の値）を基に、今後5年間の0歳から15歳までの年齢ごとの推計を行い（令和4年から令和8年までの各年）、小学生年齢人口（6～11歳）及び中学生年齢人口（12～14歳）の推計結果は以下のとおりとなっています。今後5年間は増加傾向が続く見込みとなっています。



¹ 各コーホート（同年に出生した集団）について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。推計するものが比較的近い将来の人口であり、変化率の算出基礎となる近い過去に特殊な人口変動がなく、推計対象となる近い将来にも特殊な人口変動が予想されない場合に適用できる、比較的簡便な方法といえます。

2 小学校別・学年別の令和7年度までの想定児童数

小学校	学年	実数		実数		想定			
		R4(5.1時点)		R5(5.1時点)		R6		R7	
		児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
麹町	1	84	3	87	3	87	3	93	3
	2	106	4	85	3	88	3	88	3
	3	98	3	104	3	86	3	89	3
	4	108	3	95	3	104	3	86	3
	5	84	3	107	3	96	3	105	3
	6	91	3	84	3	109	3	98	3
	計	571	19	562	18	570	18	559	18
九段	1	75	3	80	3	87	3	77	3
	2	90	3	72	3	82	3	89	3
	3	87	3	88	3	73	3	83	3
	4	88	3	85	3	89	3	74	3
	5	69	2	86	3	87	3	91	3
	6	91	3	73	2	87	3	88	3
	計	500	17	484	17	505	18	503	18
番町	1	78	3	82	3	80	3	91	3
	2	62	2	79	3	84	3	82	3
	3	75	3	61	2	81	3	86	3
	4	66	2	75	3	63	2	83	3
	5	69	2	70	2	77	3	65	2
	6	72	2	67	2	72	2	79	3
	計	422	14	434	15	457	16	486	17
富士見	1	71	2	94	3	80	3	98	3
	2	99	3	66	2	96	3	82	3
	3	84	3	95	3	67	2	97	3
	4	84	3	86	3	96	3	68	2
	5	81	2	85	3	88	3	98	3
	6	68	2	86	3	87	3	90	3
	計	487	15	512	17	514	17	533	17
お茶の水	1	58	2	55	2	69	2	58	2
	2	59	2	58	2	55	2	69	2
	3	47	2	61	2	58	2	55	2
	4	50	2	47	2	61	2	58	2
	5	35	1	48	2	48	2	62	2
	6	54	2	38	1	49	2	49	2
	計	303	11	307	11	340	12	352	12
千代田	1	48	2	68	2	62	2	76	3
	2	61	2	46	2	68	2	62	2
	3	55	2	61	2	47	2	69	2
	4	56	2	58	2	62	2	48	2
	5	44	2	57	2	59	2	63	2
	6	47	2	43	2	58	2	60	2
	計	311	12	333	12	356	12	378	13
昌平	1	45	2	41	2	48	2	41	2
	2	54	2	44	2	41	2	48	2
	3	33	1	54	2	45	2	42	2
	4	48	2	27	1	54	2	45	2
	5	33	1	49	2	28	1	55	2
	6	41	1	34	1	49	2	28	1
	計	254	9	249	10	265	11	259	11
和泉	1	74	3	67	2	76	3	59	2
	2	68	2	72	3	67	2	76	3
	3	64	2	68	2	72	3	67	2
	4	55	2	62	2	69	2	73	3
	5	53	2	55	2	63	2	70	2
	6	45	2	53	2	55	2	63	2
	計	359	13	377	13	402	14	407	14

※児童数の算出方法…(1年生)児童の推計人口×学区区域民入学率(過去3年の新1年生の平均)+学区域外在籍者(過去3年の新1年生の平均)

(2～6年生)前年の児童数に児童数増減数を加減し学年進行させる

<学区区域民入学率:各年4/1時点での各学校の学区域内の児童のうち、学区域の学校に入学した児童の割合>

<学区域外在籍者:各年4/1時点の在籍者で、指定校変更・区域外就学により学区域外から入学した児童及び外国籍の児童>

◎参考:学級編制基準

R4		R5		R6		R7～
35人学級	40人学級	35人学級	40人学級	35人学級	40人学級	35人学級
1～3年生	4～6年生	1～4年生	5～6年生	1～5年生	6年生	1～6年生

第3章 千代田区の強みを活かした新しい学びのスタイル・環境の創出に向けて

区は、江戸時代から日本の政治・経済・文化の中心として発展してきました。丸の内・大手町エリアには日本を代表する大企業が集まり、秋葉原エリアには電気街が形成されています。また、神田地区には多数の大学・各種学校が集積し、麹町地区には大学や様々な国の大使館が建ち並んでいます。こうした企業や大学等が高度に集積する点が、区の特徴であり強みとなっています。

こうした地域特性を活かしながら、区がめざす姿を実現するために、新しい学びのスタイルや環境を創出することが必要です。

1 新しい学びのスタイルの創出

(1) 大学等各種学校、企業等との連携（産学官連携）強化

区の地域特性の一つである、大学や私立学校・在日外国人学校等が集積する文教のまちという側面や各種企業が集積する強みを活かしつつ、地域の中で学びを実践する各主体との連携・協働により、子どもたちの主体性や創造力を育むための実践的な学びの機会を創出することが重要です。

既に、各学校において、大学や企業との連携による取組は実施されており、そうした取組をさらに深化・継続させるための仕組みの構築が重要です。

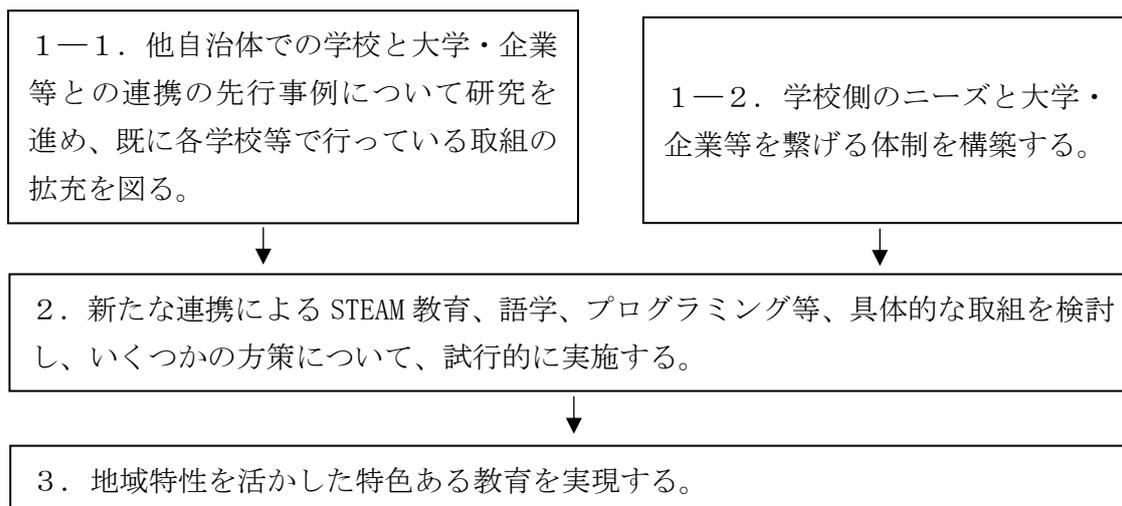
【会議での主な意見】

- ・大学施設が集まっている区でしかできないことがあると考えている。例えば、午前中は各学校で授業をして、午後からは子どもたちが大学等自分で好きな場所を選んで学びに行けるというような仕組みができれば面白いのではないかな。
- ・区ならではの連携ということでは、大学だけではなく、企業や国際的な機関等との連携も考えられるのではないかな。

《取組の方向性》

大学、企業等と既に連携を行っている事例を研究し、区の地域特性や各地域・学校の特徴を活かした、新たな推進体制の構築について検討していく必要があります。

具体的な取組案



※多様に変容する学びのスタイルへの対応及び教育の質の向上は、継続的に行う。

(2) 特認校制の導入検討

通学区域に関係なく、希望により就学できる制度（特認校制）の導入が、近隣区で導入されています。

区においても、児童・生徒の個性に合った学校選びが可能であり、各校の特色を活かした学校づくりを推進できる点を踏まえて、特認校制の導入を検討することが重要です。

【会議での主な意見】

- ・選ばれる学校としていくため、各学校の魅力作り等を進めていかなければならないだろう。
- ・小学生、特に低学年は地域との繋がりなどの面で、特認校制度を導入することへの課題もあるのではないか。

(3) 新たな学校種別（小中高一貫教育校、義務教育学校等）の整備検討

6・3・3制では難しい長期的な視野に立った教育により、児童・生徒の特徴にあった指導ができる小中高一貫教育校が、全国初めて都内に開校しました。

新しい時代の学びを実現するという観点から、区において、新たな学校種別（小中高一貫教育校、義務教育学校等）の整備について検討することが重要です。

【会議での主な意見】

- ・新設の学校を建てるとした場合には、義務教育学校や施設一体型の小・中学校など、これまでと異なるものを据えるという方向性がよいのではないかと。
- ・令和4年4月に、公立初の小中高一貫教育校となる東京都立立川国際中等教育学校の附属小学校が開校するが、例えば、九段中等教育学校に附属の小学校を設置するという発想もあるかもしれない。同じ敷地に整備するのが難しいのであれば、別の敷地に小学校部門を整備して運用していく方法もあるかもしれない。

＜取組の方向性＞

児童・生徒及び保護者に新たな選択肢を提供し、新たな学びを実現するという観点から、特認校制や新たな学校種別の整備について、他自治体の事例を調査し、区における導入の可能性を検討していく必要があります。

具体的な取組案

〔(2) 及び (3)〕

1. 新たな選択肢を提供し、児童・生徒の個性に合った学校選びや新しい時代の学びを実現するため、従来の通学区域に関わらず就学できる特認校制や、小中高一貫教育校や義務教育学校等、新たな学校種別の整備等を検討する。



2. 他自治体の先行事例を調査する。



3. 児童・生徒及び保護者のニーズ把握のための調査を実施する。



4. 区への導入可能性を検討する。



5. 導入が可能と判断された場合、施設整備に向けた設計・工事、教育内容・学級編成等を検討する。

2 柔軟で創造的な学習空間の創出

(1) 児童・生徒数の変動に対して柔軟に対応した学びの場の確保

令和3年の実績値との増減予測では、今後5年間で、各学校区での児童・生徒数は増加が見込まれ、特に小学校4年生～6年生（9～11歳）については全ての学校区で増加が見込まれます。

全体的には増加基調なもの、一部の学校では減少も見られることから、学校別・学年別の児童増減数に柔軟に対応しながら、各学校で必要な教室数の確保が求められます。

また、小学校設置基準では、小学校の校舎には、教室（普通教室、特別教室等）、図書室、保健室、職員室を備えるものとする規定されています。さらに、法令等には規定されていないものの、現実的には廃止することが難しい諸室もあることから、今後の教育のあり方を鑑みた上での必要諸室の整理が重要です。

【会議での主な意見】

- ・コンピュータ室を普通教室に転用していくにあたっては、状況変化や外部資源の活用等を考慮する必要がある。
- ・使用頻度ということから考えると、家庭科室は近隣の大学・民間施設の活用等を検討することにより、普通教室への転用の可能性があるのではないかと。
- ・図書室の蔵書を別の空間に移動させることや、電子書籍の活用等を検討することにより、普通教室に転用するのも1つのアイデアとしてあるのではないかと。
- ・特別教室にあたる教室をどこかに集約したり、小学校と中学校で共用したりという考え方もある。法令などによりハードルが高いかもしれないが、週に複数回授業をするのではなく、集中して活動した方がいい教科であれば可能かもしれない。
- ・法令上必要な諸室を整理し、外部へ移転できる可能性のある諸室等について検討してもよいのではないかと。

(2) よりよい教育環境の整備

学校設置基準等に基づき、子どもたちにとって、よりよい学びや運動等を実現するための教育環境を整備するため、諸室や校庭等のより効果的な活用可能性を検討していくことが重要です。

【会議での主な意見】

- ・ 体育の授業において、50m走のコースを直線では取れない学校もある。体力テストを行う際は、近くの中学校や運動場を活用しているケースもある。
- ・ 昼休みを分割したり、遊べる場所をローテーションしたりするなど、遊び方を工夫している。
- ・ 併設する幼稚園では、小学校と同じ広さの校庭を使うことができるので、運動量がかなり確保できるというメリットがある。同じ敷地内で小学生の姿を見せながら育てられることも教育的に意義がある。

〈取組の方向性〉

法令等により校舎に備えることが必要とされている諸室を整理するとともに、活用の優先度等を考慮したうえで、特別教室等の普通教室への転用の可能性等、柔軟な教室利用を模索していく必要があります。

また、施設の建替えや大規模改修、学校に併設している機能の近隣施設への移転等を検討することが必要です。

さらに、校庭面積の確保や確保が難しい場合には代替となる場所の検討等を行っていく必要があります。

具体的な取組案

〔(1)〕

1. 各学校の転用可能な諸室について、柔軟な教室利用を検討する。

2-1. 特別教室等の有効活用や近隣施設での代替を検討する。(例. 家庭科室について、近隣の大学やクッキングスクールの活用の可能性 等)

2-2. 学校以外の機能を併設している学校について、他機能部分を学外・近隣へ移転し、空いたスペースを学校が利用できるよう、関係機関と調整する。

2-3. 小学校の通学区域の柔軟な運用により、従来の学区外からも希望する小学校への通学が可能な制度を検討する。

3. 併設機能の近隣施設への移転を進める。

〔(1) 及び (2)〕

1. 施設整備に向けた設計・工事を進める。

※老朽化等により施設の建替えを計画している施設は先行して実施

※児童・生徒数の増減に柔軟に対応できる教室・空間の確保

〔(2)〕

1. 公園と隣接している学校について、校庭と公園の一体的な利用の可能性を検討する。学校に隣接する区有地や民有地の活用について検討する。



2. 学校施設での防災機能や温暖化対策推進を検討する。また、持続可能な学校施設の管理・運営を行う。

【現段階における各種諸室の普通教室への転用可能性】

教室等の名称	転用可能性
理科室（準備室を含む）	各室・空間の形状等は、特定の用途・機能での使用を想定されており、すぐに転用することは難しいと考えられます。
音楽室（準備室を含む）	
図工室（準備室を含む）	
家庭科室（準備室を含む）	外部資源の活用等により転用の可能性が出てくることは考えられます。
コンピュータ室	一人一台の端末が浸透しており、状況変化や外部資源の活用等を考慮した上で、転用可能性はあると考えられます。なお、転用に際しては、採光の問題等、普通教室の要件を満たすことができるかどうか検討が必要です。
図書室	小学校設置基準により、校舎に備えるものとして位置づけられており、すぐに転用することは難しいと考えられます。一方、電子書籍や電子図書館の急速な進展により、図書室の捉え方や利用の仕方に変化が生じる可能性があり、それに伴い転用の可能性が出てくることは考えられます。
特別活動室	各室の用途や利用頻度等により、普通教室への転用可能性はあると考えられます。ただし、少人数授業を行える諸室（スペース）を確保する必要があります。
教育相談室	従来からそれほど大きいスペースが割かれている訳ではないため、すぐに転用することは難しいと考えられます。
給食室	各校の給食室を廃止して、複数校への給食提供を可能とする共同の給食調理場を新設したり、民間委託したりすることで、給食室を廃止する可能性はあります。関係者の理解・協力を得つつ、新たな給食提供方法を検討する等、条件付きではありますが、転用可能性はあると考えられます。
ランチルーム	区内においても既に普通教室への転用実績もあることから、転用可能性はあると考えられます。
プール	消防法により、消防水利として指定されており、すぐに転用することは難しいと考えられます。プールを廃止する際に消防署への届け出が必要であり、廃止後の跡地活用については、各学校や地域等のニーズを十分に踏まえることが重要です。なお、水泳指導の外部委託と合わせて、プールの管理運営のあり方を見直す可能性はあると考えられます。

【学校別の学校別想定児童数、普通教室数、必要諸室の整理】

学校名	麴町小学校																																																						
想定児童数	実数		実数		想定																																																		
	R4(5.1時点)		R5(5.1時点)		R6		R7																																																
	学年	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数																																												
	1	84	3	87	3	87	3	93	3	93	3																																												
	2	106	4	85	3	88	3	88	3	88	3																																												
	3	98	3	104	3	86	3	89	3	89	3																																												
	4	108	3	95	3	104	3	86	3	86	3																																												
	5	84	3	107	3	96	3	105	3	105	3																																												
6	91	3	84	3	109	3	98	3	98	3																																													
計	571	19	562	18	570	18	559	18	559	18																																													
普通教室数・学級数 青：現使用可能教室数 赤：改修後最大使用可能想定数 黄：想定学級数	<p>併設している区民館部分を改修し、令和4年度から普通教室が3教室増加し、21教室まで確保可能となった。 2F多目的室、2F・3F少人数算数教室は既に普通教室として転用可。</p>																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教室等の名称</th> <th>数</th> <th>結果</th> <th>併設している施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通教室</td> <td>18</td> <td>-</td> <td rowspan="12"> ・麴町幼稚園【1階】 ・アフタースクールこ うじ町（学校内学童 クラブ）【1階】 ・麴町出張所 【1階、地下1階】 </td> </tr> <tr> <td>理科室（準備室）</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>音楽室（準備室）</td> <td>2</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>図工室（準備室）</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>調理実習室（準備室）</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>図書室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特別活動室</td> <td>特別支援教室</td> <td>2</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>少人数算数教室</td> <td>2</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>スクールカウンセラー室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ランチルーム</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>多目的室</td> <td>1</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>教育相談室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>給食室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>										教室等の名称	数	結果	併設している施設	普通教室	18	-	・麴町幼稚園【1階】 ・アフタースクールこ うじ町（学校内学童 クラブ）【1階】 ・麴町出張所 【1階、地下1階】	理科室（準備室）	1	×	音楽室（準備室）	2	×	図工室（準備室）	1	×	調理実習室（準備室）	1	△	図書室	1	△	特別活動室	特別支援教室	2	×	少人数算数教室	2	◎	スクールカウンセラー室	1	×	ランチルーム	1	△	多目的室	1	◎	教育相談室	1	×	給食室	1	△
教室等の名称	数	結果	併設している施設																																																				
普通教室	18	-	・麴町幼稚園【1階】 ・アフタースクールこ うじ町（学校内学童 クラブ）【1階】 ・麴町出張所 【1階、地下1階】																																																				
理科室（準備室）	1	×																																																					
音楽室（準備室）	2	×																																																					
図工室（準備室）	1	×																																																					
調理実習室（準備室）	1	△																																																					
図書室	1	△																																																					
特別活動室	特別支援教室	2		×																																																			
	少人数算数教室	2		◎																																																			
	スクールカウンセラー室	1		×																																																			
	ランチルーム	1		△																																																			
多目的室	1	◎																																																					
教育相談室	1	×																																																					
給食室	1	△																																																					
必要諸室の整理	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教室等の名称</th> <th>数</th> <th>結果</th> <th>併設している施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通教室</td> <td>18</td> <td>-</td> <td rowspan="12"> ・麴町幼稚園【1階】 ・アフタースクールこ うじ町（学校内学童 クラブ）【1階】 ・麴町出張所 【1階、地下1階】 </td> </tr> <tr> <td>理科室（準備室）</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>音楽室（準備室）</td> <td>2</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>図工室（準備室）</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>調理実習室（準備室）</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>図書室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特別活動室</td> <td>特別支援教室</td> <td>2</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>少人数算数教室</td> <td>2</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>スクールカウンセラー室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ランチルーム</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>多目的室</td> <td>1</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>教育相談室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>給食室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>										教室等の名称	数	結果	併設している施設	普通教室	18	-	・麴町幼稚園【1階】 ・アフタースクールこ うじ町（学校内学童 クラブ）【1階】 ・麴町出張所 【1階、地下1階】	理科室（準備室）	1	×	音楽室（準備室）	2	×	図工室（準備室）	1	×	調理実習室（準備室）	1	△	図書室	1	△	特別活動室	特別支援教室	2	×	少人数算数教室	2	◎	スクールカウンセラー室	1	×	ランチルーム	1	△	多目的室	1	◎	教育相談室	1	×	給食室	1	△
教室等の名称	数	結果	併設している施設																																																				
普通教室	18	-	・麴町幼稚園【1階】 ・アフタースクールこ うじ町（学校内学童 クラブ）【1階】 ・麴町出張所 【1階、地下1階】																																																				
理科室（準備室）	1	×																																																					
音楽室（準備室）	2	×																																																					
図工室（準備室）	1	×																																																					
調理実習室（準備室）	1	△																																																					
図書室	1	△																																																					
特別活動室	特別支援教室	2		×																																																			
	少人数算数教室	2		◎																																																			
	スクールカウンセラー室	1		×																																																			
	ランチルーム	1		△																																																			
多目的室	1	◎																																																					
教育相談室	1	×																																																					
給食室	1	△																																																					

- ◎：既に普通教室として転用可能で、現在別の用途で使用している諸室
- ：今後普通教室が不足した場合に改修の可能性があると思われる諸室（区教育委員会が現時点で考えているもの）
- ：別の用途での使用を予定している諸室
- △：状況変化や外部資源の活用等を考慮した上で転用可能性を検討する諸室
- ×：転用が難しい諸室（現段階では現実的ではないもの）

学校名	九段小学校									
想定児童数		実数		実数		想定				
		R4(5.1時点)		R5(5.1時点)		R6		R7		
	学年	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	
	1	75	3	80	3	87	3	77	3	
	2	90	3	72	3	82	3	89	3	
	3	87	3	88	3	73	3	83	3	
	4	88	3	85	3	89	3	74	3	
	5	69	2	86	3	87	3	91	3	
	6	91	3	73	2	87	3	88	3	
計	500	17	484	17	505	18	503	18		
普通教室数・学級数	<p>青：現使用可能教室数 赤：改修後最大使用可能想定数 黄：想定学級数</p>									
	<p>少人数教室2室(2F,3F)は既に普通教室として転用可。</p>									
必要諸室の整理	教室等の名称		数	結果	併設している施設					
	普通教室		17	-	<ul style="list-style-type: none"> ・九段幼稚園【1, 2階】 ・九段小学校アフタースクール(学校内学童クラブ)【1階】 					
	理科室(準備室)		1	×						
	音楽室(準備室)		1	×						
	図工室(準備室)		1	×						
	家庭科室(準備室)		1	△						
	図書室		1	△						
	特別活動室	通級教室		3						×
		少人数教室		2						◎
		ランチルーム		1						○
	教育相談室		1	×						
給食室		1	△							

- ◎：既に普通教室として転用可能で、現在別の用途で使用している諸室
- ：今後普通教室が不足した場合に改修の可能性があると思われる諸室（区教育委員会が現時点で考えているもの）
- ：別の用途での使用を予定している諸室
- △：状況変化や外部資源の活用等を考慮した上で転用可能性を検討する諸室
- ×：転用が難しい諸室（現段階では現実的ではないもの）

学校名	番町小学校																																																																				
想定児童数		実数		実数		想定																																																															
		R4(5.1時点)		R5(5.1時点)		R6		R7																																																													
	学年	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数																																																												
	1	78	3	82	3	80	3	91	3																																																												
	2	62	2	79	3	84	3	82	3																																																												
	3	75	3	61	2	81	3	86	3																																																												
	4	66	2	75	3	63	2	83	3																																																												
	5	69	2	70	2	77	3	65	2																																																												
	6	72	2	67	2	72	2	79	3																																																												
計	422	14	434	15	457	16	486	17																																																													
普通教室数・学級数	<p>青：現使用可能教室数 赤：改修後最大使用可能想定数 黄：想定学級数</p> <p>少数教室1室(2F)は既に普通教室として転用可。 4F準備室、倉庫(普通教室の不足が見込まれた際に対応)を改修することにより、3教室分増え、19教室まで確保可能見込み。</p>																																																																				
必要諸室の整理	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">教室等の名称</th> <th>数</th> <th>結果</th> <th>併設している施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">普通教室</td> <td>15</td> <td>-</td> <td rowspan="15"> ・番町幼稚園 【独立園舎】 ・アフタースクール 番町第一・第二(学校内児童クラブ) 【地下1階】 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">理科室(準備室)</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">音楽室(準備室)</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">図工室(準備室)</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">家庭科室(準備室)</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コンピュータ室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td colspan="2">図書室</td> <td>2</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">特別活動室</td> <td>特別支援教室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>少数教室</td> <td>1</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>ランチルーム</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td colspan="2">教育相談室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">給食室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td colspan="2">準備室</td> <td>1</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">倉庫</td> <td>1</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>									教室等の名称		数	結果	併設している施設	普通教室		15	-	・番町幼稚園 【独立園舎】 ・アフタースクール 番町第一・第二(学校内児童クラブ) 【地下1階】	理科室(準備室)		1	×	音楽室(準備室)		1	×	図工室(準備室)		1	×	家庭科室(準備室)		1	△	コンピュータ室		1	△	図書室		2	△	特別活動室	特別支援教室	1	×	少数教室	1	◎	ランチルーム	1	△	教育相談室		1	×	給食室		1	△	準備室		1	○	倉庫		1	○
教室等の名称		数	結果	併設している施設																																																																	
普通教室		15	-	・番町幼稚園 【独立園舎】 ・アフタースクール 番町第一・第二(学校内児童クラブ) 【地下1階】																																																																	
理科室(準備室)		1	×																																																																		
音楽室(準備室)		1	×																																																																		
図工室(準備室)		1	×																																																																		
家庭科室(準備室)		1	△																																																																		
コンピュータ室		1	△																																																																		
図書室		2	△																																																																		
特別活動室	特別支援教室	1	×																																																																		
	少数教室	1	◎																																																																		
	ランチルーム	1	△																																																																		
教育相談室		1	×																																																																		
給食室		1	△																																																																		
準備室		1	○																																																																		
倉庫		1	○																																																																		

- ◎：既に普通教室として転用可能で、現在別の用途で使用している諸室
 ○：今後普通教室が不足した場合に改修の可能性があると思われる諸室（区教育委員会が現時点で考えているもの）
 □：別の用途での使用を予定している諸室
 △：状況変化や外部資源の活用等を考慮した上で転用可能性を検討する諸室
 ×：転用が難しい諸室（現段階では現実的ではないもの）

学校名	富士見小学校																																																																						
想定児童数		実数		実数		想定																																																																	
		R4(5.1時点)		R5(5.1時点)		R6		R7																																																															
	学年	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数																																																														
	1	71	2	94	3	80	3	98	3																																																														
	2	99	3	66	2	96	3	82	3																																																														
	3	84	3	95	3	67	2	97	3																																																														
	4	84	3	86	3	96	3	68	2																																																														
	5	81	2	85	3	88	3	98	3																																																														
	6	68	2	86	3	87	3	90	3																																																														
	計	487	15	512	17	514	17	533	17																																																														
普通教室数・学級数 青：現使用可能教室数 赤：改修後最大使用可能想定数 黄：想定学級数	<p>4F算数少人数教室、ラーニングルームは既に普通教室として転用可。コンピュータ室(不足が見込まれた際に対応)を改修することにより、20教室まで確保可能見込み。 令和4年度から視聴覚室を特別支援学級の教室として使用。 九段中等教育学校(前期)分の給食も提供している。</p>																																																																						
必要諸室の整理	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">教室等の名称</th> <th>数</th> <th>結果</th> <th rowspan="14">併設している施設 ・ふじみこども園【2, 3階】 ・富士見わんぱくひろば【5階】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">普通教室</td> <td>17</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">理科室(準備室)</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">音楽室(準備室)</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">図工室(準備室)</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">家庭科室(準備室)</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td colspan="2">特別支援学級用教室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">コンピュータ室</td> <td>1</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td colspan="2">図書室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">特別活動室</td> <td>特別支援教室</td> <td>2</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ステップ教室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>算数少人数教室</td> <td>1</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>ラーニングルーム</td> <td>1</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>ランチルーム</td> <td>1</td> <td>□</td> </tr> <tr> <td colspan="2">教育相談室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">給食室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>										教室等の名称		数	結果	併設している施設 ・ふじみこども園【2, 3階】 ・富士見わんぱくひろば【5階】	普通教室		17	-	理科室(準備室)		1	×	音楽室(準備室)		1	×	図工室(準備室)		1	×	家庭科室(準備室)		1	△	特別支援学級用教室		1	×	コンピュータ室		1	○	図書室		1	△	特別活動室	特別支援教室	2	×	ステップ教室	1	×	算数少人数教室	1	◎	ラーニングルーム	1	◎	ランチルーム	1	□	教育相談室		1	×	給食室		1	△
教室等の名称		数	結果	併設している施設 ・ふじみこども園【2, 3階】 ・富士見わんぱくひろば【5階】																																																																			
普通教室		17	-																																																																				
理科室(準備室)		1	×																																																																				
音楽室(準備室)		1	×																																																																				
図工室(準備室)		1	×																																																																				
家庭科室(準備室)		1	△																																																																				
特別支援学級用教室		1	×																																																																				
コンピュータ室		1	○																																																																				
図書室		1	△																																																																				
特別活動室	特別支援教室	2	×																																																																				
	ステップ教室	1	×																																																																				
	算数少人数教室	1	◎																																																																				
	ラーニングルーム	1	◎																																																																				
	ランチルーム	1	□																																																																				
教育相談室		1	×																																																																				
給食室		1	△																																																																				

◎：既に普通教室として転用可能で、現在別の用途で使用している諸室

○：今後普通教室が不足した場合に改修の可能性があるとされる諸室（区教育委員会が現時点で考えているもの）

□：別の用途での使用を予定している諸室

△：状況変化や外部資源の活用等を考慮した上で転用可能性を検討する諸室

×：転用が難しい諸室（現段階では現実的ではないもの）

学校名	お茶の水小学校																																																	
想定児童数		実数		実数		想定																																												
		R4(5.1時点)		R5(5.1時点)		R6		R7																																										
	学年	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数																																									
	1	58	2	55	2	69	2	58	2																																									
	2	59	2	58	2	55	2	69	2																																									
	3	47	2	61	2	58	2	55	2																																									
	4	50	2	47	2	61	2	58	2																																									
	5	35	1	48	2	48	2	62	2																																									
	6	54	2	38	1	49	2	49	2																																									
計	303	11	307	11	340	12	352	12																																										
普通教室数・学級数 青：現使用可能教室数 赤：改修後最大使用可能想定数 黄：想定学級数	<p>新校舎が令和6年度供用開始予定。新校舎は 15教室(最大で18教室まで対応可能)。</p>																																																	
必要諸室の整理	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教室等の名称</th> <th>数</th> <th>結果</th> <th>併設している施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通教室</td> <td>15</td> <td>-</td> <td rowspan="12"> ・お茶の水幼稚園 【1階】 ・アフタースクールお茶の水(学校内児童クラブ)【2階】 </td> </tr> <tr> <td>理科室(準備室)</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>生活科室</td> <td>1</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>音楽室(準備室)</td> <td>2</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>図工室(準備室)</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>家庭科室(準備室)</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>図書室(メディアスペース・ルーム)</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>特別支援教室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ランチルーム</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>教育相談室</td> <td>2</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>給食室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>学習室</td> <td>2</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>									教室等の名称	数	結果	併設している施設	普通教室	15	-	・お茶の水幼稚園 【1階】 ・アフタースクールお茶の水(学校内児童クラブ)【2階】	理科室(準備室)	1	×	生活科室	1	◎	音楽室(準備室)	2	×	図工室(準備室)	1	×	家庭科室(準備室)	1	△	図書室(メディアスペース・ルーム)	1	△	特別支援教室	1	×	ランチルーム	1	△	教育相談室	2	×	給食室	1	△	学習室	2	◎
教室等の名称	数	結果	併設している施設																																															
普通教室	15	-	・お茶の水幼稚園 【1階】 ・アフタースクールお茶の水(学校内児童クラブ)【2階】																																															
理科室(準備室)	1	×																																																
生活科室	1	◎																																																
音楽室(準備室)	2	×																																																
図工室(準備室)	1	×																																																
家庭科室(準備室)	1	△																																																
図書室(メディアスペース・ルーム)	1	△																																																
特別支援教室	1	×																																																
ランチルーム	1	△																																																
教育相談室	2	×																																																
給食室	1	△																																																
学習室	2	◎																																																

- ◎：既に普通教室として転用可能で、現在別の用途で使用している諸室
 ○：今後普通教室が不足した場合に改修の可能性があるとされる諸室（区教育委員会が現時点で考えているもの）
 □：別の用途での使用を予定している諸室
 △：状況変化や外部資源の活用等を考慮した上で転用可能性を検討する諸室
 ×：転用が難しい諸室（現段階では現実的ではないもの）

学校名	千代田小学校																																																																							
想定児童数		実数		実数		想定																																																																		
		R4(5.1時点)		R5(5.1時点)		R6		R7																																																																
	学年	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数																																																															
	1	48	2	68	2	62	2	76	3																																																															
	2	61	2	46	2	68	2	62	2																																																															
	3	55	2	61	2	47	2	69	2																																																															
	4	56	2	58	2	62	2	48	2																																																															
	5	44	2	57	2	59	2	63	2																																																															
	6	47	2	43	2	58	2	60	2																																																															
計	311	12	333	12	356	12	378	13																																																																
普通教室数・学級数	<p>青：現使用可能教室数 赤：改修後最大使用可能想定数 黄：想定学級数</p> <p>5F特別支援教室、会議室は既に普通教室として転用可。</p>																																																																							
必要諸室の整理	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">教室等の名称</th> <th>数</th> <th>結果</th> <th>併設している施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">普通教室</td> <td>12</td> <td>-</td> <td rowspan="14"> <ul style="list-style-type: none"> ・マミーズエンジェル 千代田保育園【1階】 ・神田まちかど図書館【1階】 ・千代田幼稚園【2階】 ・児童・家庭支援センター（さくらキッズ）【6階】 ・教育研究所【7階】 ・アフタースクールさくら第一・第二（校内学童クラブ）【7階】 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">特別支援学級用教室</td> <td>4</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">理科室（準備室）</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">音楽室（準備室）</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">図工室（準備室）</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">家庭科室（準備室）</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td colspan="2">図書室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特別活動室</td> <td>特別支援教室（ステップ）</td> <td>2</td> <td>×/◎ (1室)</td> </tr> <tr> <td>ことばの教室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>少人数学習教室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>プレイルーム</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">児童会室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">教育相談室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2">給食室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td colspan="2">会議室</td> <td>1</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>									教室等の名称		数	結果	併設している施設	普通教室		12	-	<ul style="list-style-type: none"> ・マミーズエンジェル 千代田保育園【1階】 ・神田まちかど図書館【1階】 ・千代田幼稚園【2階】 ・児童・家庭支援センター（さくらキッズ）【6階】 ・教育研究所【7階】 ・アフタースクールさくら第一・第二（校内学童クラブ）【7階】 	特別支援学級用教室		4	×	理科室（準備室）		1	×	音楽室（準備室）		1	×	図工室（準備室）		1	×	家庭科室（準備室）		1	△	図書室		1	△	特別活動室	特別支援教室（ステップ）	2	×/◎ (1室)	ことばの教室	1	×	少人数学習教室	1	△	プレイルーム	1	×	児童会室		1	×	教育相談室		1	×	給食室		1	△	会議室		1	◎
教室等の名称		数	結果	併設している施設																																																																				
普通教室		12	-	<ul style="list-style-type: none"> ・マミーズエンジェル 千代田保育園【1階】 ・神田まちかど図書館【1階】 ・千代田幼稚園【2階】 ・児童・家庭支援センター（さくらキッズ）【6階】 ・教育研究所【7階】 ・アフタースクールさくら第一・第二（校内学童クラブ）【7階】 																																																																				
特別支援学級用教室		4	×																																																																					
理科室（準備室）		1	×																																																																					
音楽室（準備室）		1	×																																																																					
図工室（準備室）		1	×																																																																					
家庭科室（準備室）		1	△																																																																					
図書室		1	△																																																																					
特別活動室	特別支援教室（ステップ）	2	×/◎ (1室)																																																																					
	ことばの教室	1	×																																																																					
	少人数学習教室	1	△																																																																					
	プレイルーム	1	×																																																																					
児童会室		1	×																																																																					
教育相談室		1	×																																																																					
給食室		1	△																																																																					
会議室		1	◎																																																																					

- ◎：既に普通教室として転用可能で、現在別の用途で使用している諸室
○：今後普通教室が不足した場合に改修の可能性があると思われる諸室（区教育委員会が現時点で考えているもの）
□：別の用途での使用を予定している諸室
△：状況変化や外部資源の活用等を考慮した上で転用可能性を検討する諸室
×：転用が難しい諸室（現段階では現実的ではないもの）

学校名	昌平小学校																																																
想定児童数		実数		実数		想定																																											
		R4(5.1時点)		R5(5.1時点)		R6		R7																																									
	学年	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数																																								
	1	45	2	41	2	48	2	41	2																																								
	2	54	2	44	2	41	2	48	2																																								
	3	33	1	54	2	45	2	42	2																																								
	4	48	2	27	1	54	2	45	2																																								
	5	33	1	49	2	28	1	55	2																																								
	6	41	1	34	1	49	2	28	1																																								
	計	254	9	249	10	265	11	259	11																																								
普通教室数・学級数	<p>青：現使用可能教室数 赤：改修後最大使用可能想定数 黄：想定学級数</p> <p>区域外からも児童を受け入れているが、現在のところ教室数に比較的余裕がある。</p>																																																
必要諸室の整理	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教室等の名称</th> <th>数</th> <th>結果</th> <th>併設している施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通教室</td> <td>10</td> <td>-</td> <td rowspan="14"> <ul style="list-style-type: none"> ・昌平幼稚園【1階】 ・小学館アカデミー昌平保育園【1階】 ・昌平まちかど図書館【1階】 ・神田児童館【5階】 </td> </tr> <tr> <td>理科室（準備室）</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>音楽室（準備室）</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>図工室（準備室）</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>家庭科室（準備室）</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>図書室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特別活動室</td> <td>ステップ教室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>なかよし相談ルーム</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>少人数学習教室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>児童会室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>教育相談室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>給食室</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>（普通教室を分割）</td> <td>2</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>				教室等の名称	数	結果	併設している施設	普通教室	10	-	<ul style="list-style-type: none"> ・昌平幼稚園【1階】 ・小学館アカデミー昌平保育園【1階】 ・昌平まちかど図書館【1階】 ・神田児童館【5階】 	理科室（準備室）	1	×	音楽室（準備室）	1	×	図工室（準備室）	1	×	家庭科室（準備室）	1	△	図書室	1	△	特別活動室	ステップ教室	1	×	なかよし相談ルーム	1	×	少人数学習教室	1	△	児童会室	1	×	教育相談室	1	×	給食室	1	△	（普通教室を分割）	2	◎
教室等の名称	数	結果	併設している施設																																														
普通教室	10	-	<ul style="list-style-type: none"> ・昌平幼稚園【1階】 ・小学館アカデミー昌平保育園【1階】 ・昌平まちかど図書館【1階】 ・神田児童館【5階】 																																														
理科室（準備室）	1	×																																															
音楽室（準備室）	1	×																																															
図工室（準備室）	1	×																																															
家庭科室（準備室）	1	△																																															
図書室	1	△																																															
特別活動室	ステップ教室	1		×																																													
	なかよし相談ルーム	1		×																																													
	少人数学習教室	1		△																																													
	児童会室	1		×																																													
教育相談室	1	×																																															
給食室	1	△																																															
（普通教室を分割）	2	◎																																															

- ◎：既に普通教室として転用可能で、現在別の用途で使用している諸室
○：今後普通教室が不足した場合に改修の可能性があると思われる諸室（区教育委員会が現時点で考えているもの）
□：別の用途での使用を予定している諸室
△：状況変化や外部資源の活用等を考慮した上で転用可能性を検討する諸室
×：転用が難しい諸室（現段階では現実的ではないもの）

学校名	和泉小学校																																													
想定児童数	実数		実数		想定																																									
	R4(5.1時点)		R5(5.1時点)		R6		R7																																							
	学年	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数																																					
	1	74	3	67	2	76	3	59		2																																				
	2	68	2	72	3	67	2	76		3																																				
	3	64	2	68	2	72	3	67		2																																				
	4	55	2	62	2	69	2	73		3																																				
	5	53	2	55	2	63	2	70		2																																				
	6	45	2	53	2	55	2	63		2																																				
	計	359	13	377	13	402	14	407		14																																				
普通教室数・学級数 青：現使用可能教室数 赤：改修後最大使用可能想定数 黄：想定学級数	<p>3F算数ルーム、多目的室は既に普通教室として転用可。 校舎の建替えを検討中。</p>																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>教室等の名称</th> <th>数</th> <th>結果</th> <th>併設している施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通教室</td> <td>13</td> <td>-</td> <td rowspan="10"> ・いずみこども園【1階】 ・いずみこどもプラザ【5、6階】 ・ちよだパークサイドプラザ【5～7階】 </td> </tr> <tr> <td>理科室（準備室）</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>音楽室（準備室）</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>図工室（準備室）</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>家庭科室（準備室）</td> <td>1</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特別活動室</td> <td>特別支援教室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>算数ルーム</td> <td>1</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>学習教室</td> <td>1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>多目的室</td> <td>1</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>給食室</td> <td>1</td> <td>△</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										教室等の名称	数	結果	併設している施設	普通教室	13	-	・いずみこども園【1階】 ・いずみこどもプラザ【5、6階】 ・ちよだパークサイドプラザ【5～7階】	理科室（準備室）	1	×	音楽室（準備室）	1	×	図工室（準備室）	1	×	家庭科室（準備室）	1	△	特別活動室	特別支援教室	1	×	算数ルーム	1	◎	学習教室	1	×	多目的室	1	◎	給食室	1	△
教室等の名称	数	結果	併設している施設																																											
普通教室	13	-	・いずみこども園【1階】 ・いずみこどもプラザ【5、6階】 ・ちよだパークサイドプラザ【5～7階】																																											
理科室（準備室）	1	×																																												
音楽室（準備室）	1	×																																												
図工室（準備室）	1	×																																												
家庭科室（準備室）	1	△																																												
特別活動室	特別支援教室	1		×																																										
	算数ルーム	1		◎																																										
	学習教室	1		×																																										
	多目的室	1		◎																																										
給食室	1	△																																												
必要諸室の整理																																														

- ◎：既に普通教室として転用可能で、現在別の用途で使用している諸室
 ○：今後普通教室が不足した場合に改修の可能性があると思われる諸室（区教育委員会が現時点で考えているもの）
 □：別の用途での使用を予定している諸室
 △：状況変化や外部資源の活用等を考慮した上で転用可能性を検討する諸室
 ×：転用が難しい諸室（現段階では現実的ではないもの）

3 安心して過ごせる学童クラブ

(1) 学校内学童クラブのあり方の検討

区では、小学校6年生まで学童クラブを利用できますが、入会希望者が多く、一部の学童クラブでは、低学年段階で定員に達しています。

学校内学童クラブについては、ニーズやメリット等も勘案し、そのあり方についても検討することが重要です。

【会議での主な意見】

- ・小学校と同じ敷地内に学童クラブがあることのメリットは大きい。こうした学童クラブは、1・2年生の在籍が多い傾向がみられ、ニーズは高いと感じる。
- ・学童クラブはできる限り学校の敷地内で整備をしたいが、なかなか難しい現状もある。学校近くの民間ビルを活用するという方法も検討していく必要があるのではないか。
- ・学校の近くに学童クラブを単独で新設するのが難しいようであれば、施設を上手く共有する仕組みを考えていくという方向性もあるかもしれない。
- ・区合同学童教室というアイデアもある。区の児童を全員同じところに集め、巡回バスで行きも帰りも送迎する。学童クラブはできるだけ学校の近くがよいと思うが、それが難しいようであれば思い切ってそのようなことをやってみるのもよいかもしれない。学区を越えた友だちもできるかもしれない。

＜取組の方向性＞

小学校と同じ敷地内にあり、特に低学年の児童やその保護者にとって安全・安心である学校内学童クラブはニーズが高いといえます。一方、児童数の増加に伴ったスペースの確保が求められていることから、学校内の諸室の整理と併せて検討を行い、場合によっては近隣施設の利用も検討していく必要があります。

具体的な取組案

1. 学校や併設施設とのスペース共有も視野に調整する。また、近隣への新たな学童クラブの整備を検討する。



2. 大学・企業と連携した特色ある新たなスタイルの学童クラブの設置を検討する。
例：高学年向けの多彩なメニュー型（プログラミング、英語、ものづくり等）

4 ロードマップ案

区がめざす子どもの姿

主体的に判断する

多様な人々と共に生きる

自ら未来を切り拓く

区の強みを活かした新しい学びのスタイル・環境の創出

※可能な限り前倒しで実施していく

取組項目	取組の方向性	短期			中期				長期
		2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	2030年度～ (令和12年度～)
1 新しい学びのスタイルの創出	(1)大学等各種学校、企業等との連携(産学官連携)強化	区の地域特性や各地域・学校の特色を活かした、新たな推進体制の構築について検討		先行事例の研究 既存連携事例の拡充	学校と企業等を繋ぐ体制の構築	新たな連携方策の検討・試行的実施	地域特性を活かした特色ある教育の実現 (例:エリア別STEAM教育、地域文化との融合等)		
	(2)特認校制の導入検討	児童・生徒及び保護者に新たな選択肢を提供し、新たな学びを実現する観点から、特認校制や新たな学校種別の整備について、他自治体の事例を調査し、区における導入の可能性を検討		新たな学校種別の整備等を検討	先行事例の調査	児童・生徒及び保護者のニーズ把握のための調査	区への導入可能性の検討	〔導入可能と判断した場合〕 施設整備に向けた設計・工事 教育内容・学級編制の検討	
	(3)新たな学校種別(小中高一貫教育校、義務教育学校等)の整備検討	児童・生徒数、不足教室数の確認・推計 (随時実施)		多様に変容する学びのスタイルへの対応・教育の質の向上(教育を下支えする教員の資質・能力の向上)					
2 柔軟で創造的な学習空間の創出	(1)児童・生徒数の変動に対して柔軟に対応した学びの場の確保	法令等により校舎に備えることが必要とされている諸室を整理するとともに、活用の優先度等を考慮したうえで、特別教室等の普通教室への転用の可能性等、柔軟な教室利用を模索		児童・生徒数、不足教室数の確認・推計 (随時実施)	各学校の転用可能な諸室について、柔軟な教室利用を検討	特別教室等の有効活用や近隣施設の代替検討	学校以外の機能を併設している学校について、他機能部分を学外・近隣へ移転等の調整	通学区域の柔軟な運用の検討	併設機能の近隣施設への移転
	(2)よりよい教育環境の整備	計画的な施設の建替えや大規模改修を検討		施設整備に向けた設計・工事 ※老朽化等により施設の建替えを計画している施設は先行して実施。児童・生徒数の増減に柔軟に対応できる教室・空間の確保 (随時実施)					
	校庭面積の確保や確保が難しい場合には代替となる場所の検討	公園と隣接している学校について、校庭と公園の一体的な利用可能性の検討		学校隣接地の活用に関する検討		学校施設での防災機能や温暖化対策推進の検討			
3 学安童クラブを過こせる	学校内学童クラブのあり方の検討	ニーズの高い学校内学童クラブは引き続き設置するとともに、学校内の諸室の整理と併せてよりよい環境確保を検討		学校や併設施設とのスペース共有も視野に調整		大学・企業と連携した特色ある新たなスタイルの学童クラブの設置検討 (例:高学年向けの多彩なメニュー型(プログラミング、英語、ものづくり等))			
		近隣への新たな学童クラブの整備を検討		持続可能な学校施設の管理・運営					